

総合的な学習の時間の改善②

－ワークショップ型研修による身に付けたい力の明確化－

総合的な学習の時間の趣旨やねらいに沿った学習を進めていく上で、育てたい資質や能力を明確にすることは大切である。また、児童生徒の実態を全職員で把握し、それを「育てたい力」を明確にしていく必要がある。そのための手法として次のようなワークショップ型の研修が参考となる。

【実践例】ワークショップ型の研修

- 1 職員一人一人が、日頃の学校での様子、地域や家庭での様子などを付箋紙に書き、広幅用紙にまとめる。
- 2 出された意見を種類毎に分類・分析し、子どもたちに足りない力、身に付けさせたい力、及びその背景（原因）を明確にする。
- 3 出された意見を集約し、本校の子どもたちに総合的な学習の時間の取組を通じて身に付けさせていくべき資質や能力を絞り込む。
- 4 課題に即した改善策を検討する。

(南大隅町立大泊小学校の実践から)

